

『CATCH(キャッチ)』は、A6版八ページで、年三回発行しています。一九八八年七月に創刊し、形態や内容は変わりましたが、現在六十一号まで続いています。

まず表紙には、「YA!YA!」の中から担当者が選んだ投稿者のイラスト作品を掲載します。二・三ページには、担当者がおすすめの本の紹介につながるエッセイを書いています。四〜七ページは、「YA!YA!」ひろば」という読者のページです。各館に投稿された「YA!YA!」の中から、特に紹介したい作品を選んで掲載しています。「図書館って楽しいよ」とか「〇〇の本はおもしろいから読んでみて!」「本は大切に!」などのメッセージもあり、担当者からのコメ



あることがわかりました。

柳沢図書館では、「YA!YA!」のファイルが九十二冊になりました。保存期間が決まっているので、残念ながら初期の「YA!YA!」を見ることはできませんが、「YA!YA!」を通じてたくさんの人たちのつながりの積み重ねを感じます。

「YA!YA!」に投稿された作品や文章のいくつかは、『CATCH』に掲載し、より多くの利用者に見てもらえるようにしています。

キャッチ

CATCH

表紙には、「YA!YA!ペーパー」の力作の中から選んだイラストを掲載

Vol.60 表紙

Vol.60 3ページ

YA!YA!ペ

「YA!YA!ひろば」には、「YA!YA!ペーパー」の作品を掲載します。イラストや本の紹介など内容はさまざま。

【投稿者のメッセージ】
もうすぐ春ですね…私も今年は受験生頑張ります

【担当者コメント】
図書館は本と人をつないでゆきます受験、がんばって下さいね

Vol.60 6・7ページ「YA!YA!ひろば」
パルムドック賞とは？
担当者が豆知識と一緒に本を紹介

ントをつけて紹介しています。スタート時は、図書館から情報を伝えるだけの一方通行でしたが、一九九五年から、「YA!YA!ひろば」ができたことにより、投稿者が参加でき

るようになりました。最後のページでは、新刊本の紹介をしています。バックナンバーも館内にありますので、ぜひ手にとつてご覧ください。自称YA世代もどうぞ。

西東京市中学校合同書評会
～図書館と学校との連携～

西東京市の中学校では、司書教諭と学校図書館専門員の企画で、平成十六年度から毎年、中学生有志による合同書評会が行われています。今年度は七月に保谷中学校を会場に三十八名の生徒が参加して開かれました。今回対象となった本は、二〇〇八年に西東京市図書館が夏休みすいせん図書に選んだ『ローザ』(ニッキ・ジョヴァンニ文。プライアン・コリアー絵。二〇〇七年刊。光村教育図書でした。この絵本は、一九五〇年代のアメリカの公民権運動のきっかけとなった、一人のアフリカ系アメリカ人女性の勇気ある行動を取り上げています。

書評会では、「差別は人間だれもがもっている感情」「差別はどここの国でもあること。例えば、日本では昔、"えた・ひにん"と呼ばれる人々がいた」「自分よりも下の人がいるからいいや」という気持ちがあるから差別はなくならないのだろう」「だから声があげた後に続く人たちがいることが大切なのだ」と思ったなどの中学生の素直な感想が出されました。

今回、夏休みすいせん図書の一冊が合同書評会で取り上げられ、生徒たちの意見交換の材料となりましたが、今後も、学校とこのような連携を図っていきたいと考えています。